

「ニュージーランド発 「テフアリキ」



わたしがたけの子を創立したところ、このニュージーランドの幼児教育「テフアリキ」を、福島大学の
大宮勇雄教授から初めてお聞きしました。

そのころ園児は2人しかいなくて、少人数の保育で
社会性を身に付けられるのだろうかという声が周辺
から聞こえてきて、揺れている時期でした。また森
のムツも森のようちえんも詳しく知らないころで、
この幼児教育理論が非常に助けになったことを今で
も鮮明に覚えています。

理屈ではなく、「子どもが何事にもとらわれずいっ
ぱい遊べる環境が作りきたい」と思って始めたので、
保育理論とかは後回しでした。でも、仲間と夢いっ
ぱいに語り合ってきた「たけの子」でした。

それを後付けとは言え、理論でわたしたちが目指
しているものを明確にしめしてくれたのが、この「テ
フアリキ」です。今回はネット上に掲載されていたフ
リーライター 田口るいさんの文章で紹介します。

◆「テフアリキ」って何？ *ニュージーランド語で「織物」
日本によくある「〇才までに〇〇ができるように」
といった幼児教育とは違い、子どもの社会的・文化的
な学びや、さまざまな人々との関わりを重視した
1996年にニュージーランドで導入された幼児カリ
キュラムです。

集団遊びを強制せず、一人ひとりの子どもの意思
を尊重するのも特徴で、自由遊びがメインです。様々
な遊びの空間で、子どもたちはそれぞれ好きな場所
で好きなように、思いっきり遊びながら「自分で考え
ていくプロセス」を習得していきます。

◆4つの原則と5つの要素

4つ原則

Empowerment...学び、成長する力
Holistic Development...成長する道筋の全体性
Family and Community...コミュニティの重要性
Relationships...人、場所、物との関わり

5つの要素

Well-being...健康と幸福が守られる
Belongings...子どもと家族が所属感を得られる
Contribution...子どもの社会貢献は価値がある
Communication...様々な文化や言語、象徴の価値
Exploration...様々なことを試したいという探求心
これらが縦系と横系となり、織物を形成しているイ
メージが「テフアリキ」です。

◆「テフアリキ」のメリット

「ラーニングストーリーで子どもの成長を把握
たけの子でいうところの学びの物語です。

テフアリキの「ラーニングストーリー」はポジティブ
な内容のみであること、写真つきであること、先生以
外でも誰でもコメントを書けることです。そうした
姿勢が子どもの自己肯定感を育むきっかけにもなる
のです。

◆適応能力やリスクマネジメント能力などが育む

日々事前や人間を相手に「どうやってたうらでできるか？」
を常に考えて行動するため、困難に負けない力、忍耐力、
回復力、適応能力、創造性、失敗（リスク）を嫌が
らずイマジネーションして乗り越えていく力が強くな
ります。

◆コミュニケーション能力が身につく

子ども同士に争いが起こっても、ケガや暴力の可能
性がある場合のみ仲裁し、基本的に見守ります。そ
うすることで、自分たちで物事を解決する力や、自
分の意思を伝えたり相手の意見を汲み取ったりする

コミュニケーション能力が身につけていきます。

◆家庭でも取り入れられる「テフアリキ」

□危険なものを排除しない
時にはケガや失敗を経験することによって、子ども
たちは「リスクテイカー」になり、より豊かな成長を
促せます。

□外遊びを積極的に行う

基本的にはどんな天気でも外遊びをします。
外遊びは、自律性や有能観、集中力や発想力といっ
たあらゆる能力を育てると心理学者の石崎一記氏
は言います。

□習い事の必要性を見直す

ニュージーランドのプリスクールで日本からの親子
留学を受け入れている渡辺寿之氏は、日本の都市部
で「隣の子もやっているから」といった理由で幼児で
も習い事で毎日が埋まっていくような教育スタイルが
増えていることを問題視しています。他人任せでは
親自身が育児に自信がなくなる可能性もあるとい
います。ニュージーランドでは小学生までは塾に通って
いる様な子どもはいないとのこと。その代わり、
自然の中でクタクタになるまで遊び、様々なことを
学んだり、自分の得意な分野を伸ばしたりしている
のです。

◆テフアリキの薦め

こうやってみると本当にたけの子の核になっている
保育カリキュラムであることがわかります。
世界中で注目を集めているそうですが、日本では
まだまだといった感じです。

子どもたちが成長し、大人になるころには、世界に
目を向けていかなければならない社会になっていく
と思います(本当は今も)。今からできることを一緒
にやってみましょう。

辺見紗子